2020年6月発行　　発行元：ユニファ株式会社

スマート保育園®通信　6月号(7月17日訂正版)

こんにちは！
　ようやく、緊急事態宣言も解除され、皆様の園でも登園されるお子様が少しずつ増えてきているかと存じます。まだまだ、気を抜く事は難しいですが、こんな時でも役に立つ情報をお届けしていけたらと考えています。今回は、園のICT化推進について、ICT化までの道のりや、職員の皆様への浸透の仕方、その効果についてインタビューをさせて頂きました！是非、園の皆様のご参考になれば幸いです。

〔特集1〕
ICT化から、何気ない会話を増やし、人間関係構築へ！
日々変化していく社会でも活躍できる子どもたちの教育を目指して。

ー　つきのひかり国際保育園　園長　望月主税先生に伺いました　ー

ユーチューバーとして、youtubeをも利用して、子育てや保育のお役立ち情報の発信もされている望月園長！

■ChikaraMoChannel
http://u0u1.net/Wwla

1.　どのような思いを持って、この園を作りましたか？

不足している保育園を増やすため、また、一番大切な幼児期に世界に通用する子どもたちを育てる教育および保育をするために昨年4月に開園しました。
小中学校の教員、高校やInternational　Schoolにも勤務し、理想とする教育を追究し続け、より早い段階で実現をしたいと考え、保育園を立ち上げました。
　英語を学ぶためだけの保育園でなく、日本の保育の基準に準拠し（認可園）、日本の保育の良さを盛り込み、さらに外国の幼児教育の世界基準としての国際プログラム　国際バカロレアを取り入れました。（現在候補園であり、認可園を目指しています）

2.　コミュニケーションのある園、ちょっとした時間作りのためのICT化

業務内容を話すための時間を短縮化することで、たわいのない時間が増えていきます。
そのために保育専用のICT化だけでなく、事務作業や伝達業務のIT化を行っていきました。
文書をGoogleドライブ*1に保存し、誰もがどこでも共有できるようにし、ZOOM*2も早い段階から使用するなど、全員が情報共有、共通認識を持てるような環境を作ることで、なるべく口頭伝達をしない運用を心掛けています。ちょっとした情報シェアは、Slack*3を使い、業務関連情報は全職員へ共有。**その分、普段話す内容は人間関係構築に役立つようなたわいもない話を心がけています。**

*1 Google ドライブ：Google社(アメリカ)　のオンラインストレージ(保存）サービス**Google ドライブ**を使用すると、あらゆるファイルを安全に保管して、スマートフォン、タブレット、パソコンでどこからでもアクセスできます。（（https://www.appsupport.jp/category/drive）
*2 ZOOM(ズーム)　：ZOOM　社のテレビ会議と同様に映像（ビデオ）と音声を使って、社外にいる相手とのコミュニケーションを可能にし、ビジネスシーンでの機能が特に洗練されたツールです。https://zoomy.info/manuals/what_is_zoom/

※特集でご紹介している図版は、お話を元に作成したイメージ図です。
Copyright © UniFa.inc All rights reserved. ※ここでご紹介している文章・写真は無断で複製・転載することを禁止します。

*3 Slack：グループチャット、1対1のメッセージング（Direct Message）、音声通話をWebサービスとして提供する、チームコミュニケーションツール

3.　ICT化の過程、工夫

・ICT化にするにあたり、どのような準備をしましたか？

自分自身で、各クラスにパソコンを1台ずつセットしました。それは、何時でも自然にパソコンに触れられる環境を作るためです。最初は、苦手意識を持つ先生も多いですが、数名得意な先生がいたため、自分自身でその先生に操作を説明し、先に習得した先生から他の先生方へ説明をしてもらっていきました。先生同士の横のつながりは非常に強く、先に習得した先生からのレクチャーはスムーズにいきました。外国人講師⇔日本人保育の会議においても、ZOOMを利用したり、資料を自動翻訳機能を利用してやり取りを行っています。

・ICT化において、どのような工夫をしましたか？

身近な業務で”便利”と実感できることを作っていきました。

作成する文書はほぼIT化をしていったため、公立園から来られた先生は、（今までの環境が職員室にパソコン1台という環境が多かったので）戸惑いがたくさんありました。

そこで、日々の業務を”**こんなに便利だ”と感じられるような経験をまずは作っていきました。**

効果的だったのは、日々の音楽活用。今までは個人や園において、それぞれ管理しているCDを探して、それぞれのクラスで担当の先生がCDプレーヤーを使用し音楽を流していました。それを”NAS”(ネットワーク上の保存スペース）を使って、すべてのCD情報を格納。Bluetoothでスピーカもつなぎ、誰もがどのクラスからでもいつでも音楽をかけられる環境を作りました。この経験が**”個人で持っていたものを取りまとめたらこんなに便利になるんだ！＝IT化の便利さ”の実感**につながり、半年かけて徐々にITを使う当たり前の日々ができるようになりました。

重要なのは業務のICT化が楽になると伝えるのでなく、その前の段階でIT化で楽になることを実感できる経験を積んでいく事だと思います。

※特集でご紹介している図版は、お話を元に作成したイメージ図です。

Copyright © UniFa.inc All rights reserved. ※ここでご紹介している文章・写真は無断で複製・転載することを禁止します。

4.　手段としてのルクミー午睡チェック

・ルクミー午睡チェックをどのように活用していますか？

保育園になって一番の課題は、**子どもたちを常に見ながら保育士間での連携を取ることです**。朝7時から遅い場合だと7時まで子どもたちが常にいる状態。その中でも保育士全員で話をする時間を確保しなくてはなりません。そこで、着目したのは午睡時間。
割と子どもに手を取られずに時間をとれます。一方、特に未満児は午睡中の事故比率も高いため、担当保育士がしっかり見守らなくてはなりません。ルクミー午睡チェックを使い、見守りのサポートをしてもらい、保育士は各保育室で見守りをしっかりしていく。その中でZOOMをつなげて、必要な人が話をしていく。そういった環境を実現できるようになりました。

5.　結果

・IT化促進の進化は見えましたか？

IT化促進を一年実施してきました。1年続けることで、**2年目以降の大きな強みになりました。**
1年目は書式を作ったり、操作に慣れることが大変でしたが、**今年は去年の行事を簡単に振り返ることもでき、今後は、違うことに費やせる時間につながっています。**
さらに、ルクミー午睡チェックは、保育士における”安心感”につながっています。**”安心感が全然違う”という声が保育士からあがっており、**さらに、**保護者様からも安心であることへの声が年末のアンケートでも上がってきています。**園見学の際も、0歳での取り組みを紹介すると”こんなのあるんですねー、ここまでしているなら安心”と声を聴けるようになり、**周りからの声からも実感につながっています。**

・ICT化で保育の質の向上に関係して、変わってきたこと

保育士同士でのコミュニケーションが一番大切だと思っています。先生同士で共通認識を持っていないと保育の質の向上は図れません。ただ、それは、空き時間（ゆとり）がないとできません。人間関係は業務のことだけをしても築けない、家族や趣味のことを話すことも大切です。
ICT化したことで、空いた時間を作り、いわゆる”ちょっとした事”を話す時間が取れるようになってきました。

6.　最後に

日本のように1言語のみが共通言語の国は、4割程度。2言語以上を日常的に話す国が約6割。国際社会の中で遅れをとることがとてももったいなく、日本のよさをもっと生かしていく、国際感覚を早い段階で身に着けていくことを目指しています。これから、テクノロジ-,５G,AI、ロボットなどどんどん進化していきますが、そういう世界でも活躍できる人材を育てていきたいです。今、保育園自体も大きく変わろうとしている。テクノロジーが保育や教育で果たす役割、さらには、コロナ影響でも必要な環境は変わっていきます。ユニファのように、テクノロジーで豊かになっていくことをどんどん出していくことは経営者としてありがたいと考えています。

※特集でご紹介している図版は、お話を元に作成したイメージ図です。
Copyright © UniFa.inc All rights reserved. ※ここでご紹介している文章・写真は無断で複製・転載することを禁止します。

〔特集2〕
新規開園同時に全ICT製品導入！　MemoryTree瀬戸保育園での事例紹介
”当たり前の環境を作り、何が起こるかを予測しながらルール化を”

―MemoryTree瀬戸保育園　園長　中村　紀子　先生に伺いました―

1.　どのような思いを持って、この園を作りましたか？

MemoryTreeグループとして17園目の新規開設園となり、これからの保育園ということで、一歩先の質の高い保育を目指していこうと考え、コンセプトとして、”あったらいいなを超える、温かいスマート保育園”を掲げ、開園しました。

2.　どのようにICT化を進めましたか？

保育者が**”ICT化は当たり前であるもの”**だと感じられるように、開園とともにユニファ社の全ICTサービスを導入しました。**最初から、”時代の最先端を行く”イメージが付きやすくなり、職員の意識が高まっていました。そのおかげで抵抗なくスタート出来たと感じています。**サービスは一気に導入しましたが、例えばキッズリ―については、クラス日誌等は法人で使い慣れている紙をそのまま利用、連絡帳や登降園はキッズリーの機能からスタートするなど、使用頻度等によって段階的に進めていきました。

※特集でご紹介している図版は、お話を元に作成したイメージ図です。
Copyright © UniFa.inc All rights reserved. ※ここでご紹介している文章・写真は無断で複製・転載することを禁止します。

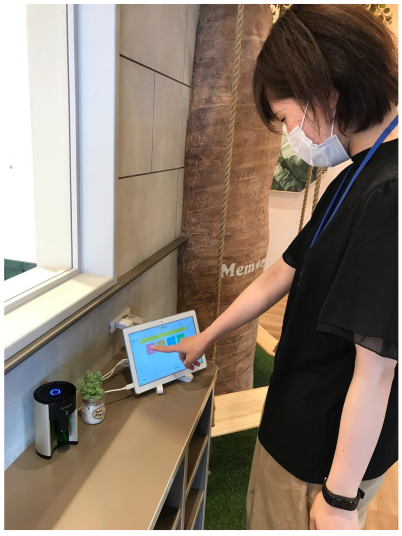
3.　どのような点を工夫されてICT導入がスムーズにいきましたか？

園長自ら使い試し、そこから実稼働で起こる問題を予測していきました。

ICTを取り入れるのに不安になるのは、”わからないことがわからなかいから。”だと考えています。
とにかく、職員同士、職員への情報共有を、園長先生自ら実施、法人の秘書にもサポートをもらっていきました。実際に、作業をして見せたり、連絡帳を作ってみたり、午睡チェックを動かしてみたりという時間をとることで、**何が問題として想定されるかを事前に一緒に考えていきました。**これから導入を検討される方も、最初から現場の先生全員におろすのではなく、そのサービスの担当者を立ててかみ砕いてから卸す流れを取るとスムーズに運用出来るかと思います。

4.　一番大変だったこと、それをどのように乗り切りましたか？

使いこなす最適なルールを追究、共有することを徹底していきました。



ICTを使うことではなく、”使いこなす最適なルールを共有すること”が推進する際に一番重要だと考えています。保護者様へのお声がけの仕方など、共通のルールがない事から問題が発生することがありました。例えば、お子さんが登園されていても、アプリの連絡帳が送信されていないことが後からわかったり、お迎えする保護者様がいつの間にか変わっていたことを把握できていなかったなど、実際の保育をしながら「いつのタイミングで誰がチェックするのか」等のルールを決めていきました。何度も試していきました。
最初想定していた以上にデバイスが必要であることが判ったため、導入後にiphoneを増やしたり、最適な環境を見直していきました。完全に使いこなせた！という実感を得るには半年はかかると思っていますが、どんどん慣れて来ているためそんなに大変だと感じることはありません。

5.　保護者様の方の反応はどうでした？

入園説明会でICTを積極的に取り入れている園である事を説明した際は「助かります！」という前向きなお声を多数頂きました。その後予期せぬコロナの影響がありましたが、早速キッズリーの「園からのお知らせ」が重宝されました。この毎日の状況の変化を、都度プリントで配る訳にはいきません。保護者様だけでなく職員の中でも「やっぱり入れて良かったね」という声が伝わっていました。

※特集でご紹介している図版は、お話を元に作成したイメージ図です。
Copyright © UniFa.inc All rights reserved. ※ここでご紹介している文章・写真は無断で複製・転載することを禁止します。

〔オンライン集合研修にご参加いただき有難う御座いました！〕

　子どもたちが登園し始めたお忙しい時期に長時間の研修にご参加いただき有難うございました。
大豆生田先生のお話は本当に感動しました！
ユニファスタッフでも涙ぐんだ者もいたようです。
私も、大豆生田先生の、あの優しい話し方の講演を聞きながら、幼少期に両親に絵本を読み聞かせてもらった時の事を非常に懐かしく思い出しました。

＜[再掲]次回集合研修の宿題＞

今回の集合研修において、皆さんに決めていただいた”チャレンジテーマ”に対し、がんばったこと、共有したこと、そこから見えてきたこと、伝えたいと思ったことを写真に撮ってきていただきたくお願いいたします。
次回の集合研修までに、どんなことをチャレンジしたかがわかるような写真を撮ってみてください。
取っていただいた、子どもの姿に焦点をおいた1枚の写真で話し合いができたらと考えております。
（連続性ある写真でもOKです）
もちろん、うまい、下手にはこだわらなくてOKです！

注意点：”みんなこっちみてねー”というものでなく、伝わる自然体のものでお願いいたします。
※宿題のお写真をご提出いただく方法については、第2回集合研修が近づいてまいりましたら、ご案内させて頂きます。

＜第1回集合研修の振り返りに役立つオンライン研修のご案内＞

保育のデザイン研究所　川辺先生からご紹介いただいた、大豆生田先生のお話のベースとなる、基本となるオンライン研修のおススメです。

[研修番号：NH2]乳児保育の基本
[研修番号：YK2]幼児教育の基本(アクティブラーニング）

次回の研修で皆様に再びお会いできることを楽しみしております！

※特集でご紹介している図版は、お話を元に作成したイメージ図です。
Copyright © UniFa.inc All rights reserved. ※ここでご紹介している文章・写真は無断で複製・転載することを禁止します。